

新型コロナウイルス感染対応緊急支援助成事業  
「支えあう多様なコミュニティづくり支援事業」  
最終報告会



休眠預金を活用した事業です



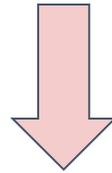
実行団体名「やっちろ保健室」運営協議会  
(現 一般社団法人看護のココロ)

担当者名 蓑田 由貴

# 私たちが取り組んだ事業

『お世話役を発掘&育成し、  
コミュニティーを継続する仕組みを作る。』

お世話役を「**ささえびと**」と名称した。



「**チームささえびと**」を結成中！  
このチームは医療関連の有資格者を中心とした、  
地域の**健康相談**や**学び**や**楽しみ**をお手伝いする  
ボランティアチーム。



# 1、団体・助成事業を取りくむことになった経緯

1) **高齢化、人口減少、地域での支援や情報の格差が拡大**している。

①地域でのお世話役となる人材が減り、外出機会も失い、引きこもる高齢者も増えている。

②八代市坂本町では全ての地区は、**50%を超えており**、更には災害が起きたことで更に過疎化は進んでいる状況である。

(人の繋がりが希薄化)



## 2、助成事業が目指した目標

- 1) お世話役「ささえびと」の人材発掘へつながる。
  - 2) 看護のココロ「やっちろ保健室」の広報活動を行うことで、**認知度が上がり利用者が増える。**
  - 3) 団体の基本的な**基盤強化**を行う。
- ①任意団体から法人化となり社会的信用を得ることで人材確保や寄付金などを集めやすいことから、**団体の設立**を目指した。



# 3、取り組んだこと

1) やっしろ保健室活動継続。(月に1回、2箇所：1回は雪で中止。仮設住宅1回)

①基盤の整理と協力・連携団体の更なる連携。(ミーティングは75回)

・ 行政機関との情報交換。

・ 坂本町鶴喰町での**避難訓練**、坂本町**民生委員研修**を行った。

②「ささえびと」についての考え方整理。

2) 活動の良い点について知ってもらうための広報活動。

①ホームページ作成と「お世話ラジオ」音声配信や動画発信。(30回発信！)

②活動に関わっている方へのインタビュー撮影や個別での広報活動。

③活動の方向性や課題・活動の成果を**熊本県立大学の学術的な観点**から言語化(論文作成)を行った。

④熊日新聞3回、読売新聞1回記載。FMくまもと1回、FMやっしろ2回出演。

3) 任意団体から法人化設立。

①法人設立シンポジウム開催行った。(25人参加あり\*コロナの影響で人数制限)



実際の声、動画をご覧ください。(2分)

入退院を繰り返す高齢者  
地域でのケアに疑問  
↓  
まちの保健室つくる！



## 4、目標の達成度や成果

1) やっちら保健室活動は継続でき、ささえびとチームが出来た。  
ささえびとスタッフは有償ボランティアとして延べ**46人**のお手伝いがあった。

2) 活動の良い点を中心に広報を行うことで信頼関係が構築でき、やっちら保健室利用者は増えた。

→利用者は**135人**であり月に平均16人/2カ所利用。

3) 行政機関との情報交換から、**活動について知ってもらう機会**になった。(熊本県健康福祉政策課地域支え合い支援室、八代市高齢者支援課や企画政策課、地域包括支援センター、八代市社会福祉協議会、ささえあいセンター)



## 5、助成事業で成長したこと・変化したこと

1) 組織運営について。

- ①方向性を具体的に示しながら、その方向性に応じた人材選定をしていくこと。
- ②役割や目的を確認しあい、話し合いを行うこと。

2) 話し合うことについて。

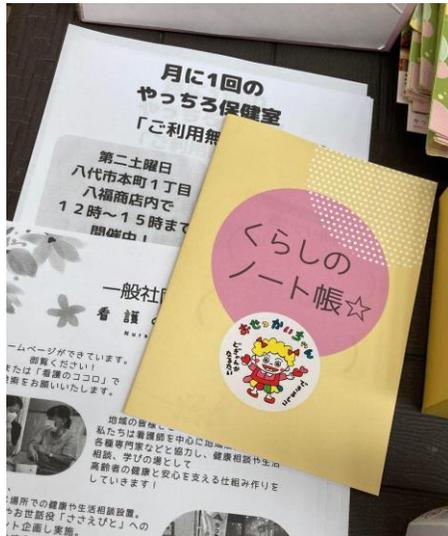
- ①運営の話が中心で事業の話がうまく進まない所もあった。
- ②他の仕事もしながらの活動。（しかしダブルワークは理想的）

3) 活動に対しての価値観や方向性を確認することが出来た。

- ①お世話役「ささえびと」についても量より質であること。
- ②活動に対しての考え方。（ボランティアベースであること）

## 6、今後の方向性

- 1) まずは**やっちょろ保健室のモデル化**を目指す。
  - ①そのためには**人材が最も大切な活動**であるため、**発掘とともに医師や専門家を顧問依頼し、研修プログラム作成**を行っていく。
  - ②**地域へ専門職が関わるという活動の良い点**について知ってもらうために**ささえびとの立ち位置、連携方法、組織体制**を図へしていく。

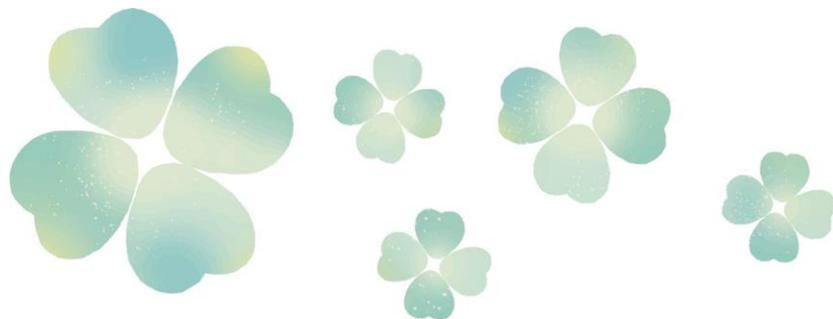


## 7、相談したいこと・お手伝いいただきたいこと

- ・ 6月頃に**寄付金集め**を行う予定です。  
→社会貢献団体を記載しているSynceble（シンカブル）にて準備中です。

「看護」とは、患者と看護師それぞれが互いに学び、成長していく人間と人間の過程である。

by、ペプロウの人間関係看護理論より



Synceble(シンカブル)の看護のココロページです。

